

河川における有機フッ素化合物の検査結果について（第2報）

本年9月17日に公表した綾部市内の犀川での有機フッ素化合物の水質検査については、周辺の井戸における検査や犀川等における再検査を行っていたところですが、本日、結果が判明しましたのでお知らせします。

1 井戸水 水質調査結果（PFOS・PFOAの合算値）

9月25及び26日に井戸水4地点を先行して採水したところ、全て国の暫定指針値50未満であった（不検出～18ng/L）。今後も順次、周辺井戸の調査を実施予定。

（単位：ng/L）

採水地点	R5.9.25・26採水
物部町	18
新庄町	不検出
豊里町	4
小貝町	不検出

※ 飲用に当たっての国の暫定指針値：50ng/L

2 犀川等 水質調査結果（PFOS・PFOAの合算値）

（1）犀川

9月25日に採水したところ、全て暫定指針値未満であった（5～29ng/L）。

（単位：ng/L）

採水地点	R5.8.23採水	R5.9.25採水
犀川 天野川合流前	24	5
犀川 小田橋	150	29
犀川 三宅橋	240	29
犀川 小貝橋（環境基準点）	220	21

※ 河川の環境基準点における国の暫定指針値：50ng/L

（2）犀川支川等

9月20日に事業場の放流原水、9月25日に天野川を採水したところ、事業場の放流原水については濃度が下がっているものの、天野川は逆に濃度が上昇しているなど、対策の効果が十分に確認できなかったため、国の研究機関である国立環境研究所に対応方策について指導を依頼中。

（単位：ng/L）

採水地点	R5.8.23採水	R5.9.20・25採水
支川天野川（合流前）	2,800	6,300
事業場 放流原水	49,000	36,000

3 今後の対応

- ・綾部市が周辺井戸の所在を調査中（10月10日目処）。追加井戸があれば、順次、検査を実施。
- ・河川のモニタリング及び発生源対策について、国の研究機関である国立環境研究所に対して指導を依頼中であり、その指示に基づいて対応予定。

(参考)

○PFOS、PFOAとは

ペーフロス ペーフロア

PFOS及びPFOAは、ともに有機フッ素化合物の一種。PFOSは主に泡消火剤、半導体など、PFOAは主に泡消火剤、繊維などに使われている。

○暫定指針値とは

2020年当時の科学的知見に基づき、体重50kgの人が水を一生涯にわたって毎日2リットル飲用したとしても、この濃度以下であれば人の健康に悪影響が生じないと考えられる水準を基に国が設定。なお、どの程度の量が身体に入ると影響が出るのかについては確定的な知見はなく、現在も国際的な様々な知見に基づく検討が進められている。

○ng/L（ナノグラム・パー・リットル）とは

水1リットル中、10億分の1グラム

【本報道発表に関するお問合せ】

総合政策環境部環境管理課 課長 笠原 電話 075-414-4698
課長補佐兼係長 片山 電話 075-414-4709

